

# AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業 シンポジウム2023

## 健康医療データの質を保証する 安全安心な医療AIサービス構築の プラットフォームの構築

研究代表者：林 美加子（大阪大学歯学部附属病院）

研究分担者：野崎一徳、古々本一馬、清野雄多、岡真太郎（大阪大学歯学部附属病院）、  
甲斐尚人（大阪大学附属図書館）、伊達進、田主英之（大阪大学サイバーメディアセン  
ター）

医療用AIの共同開発を目的として、歯科に関わるセンシティブデータを学内外の研究組織とGakuNinRDMを介して安全に共有する試みを行う。具体的には、学内だけでなく学外（一般市民等）とのデータ連携を想定して、異なるストレージサービス間でのデータ連携、証跡保存機能を使用したセンシティブデータの安全管理、データ解析機能を使用したプロジェクトメンバー間の相互分析や成果再現による医療AIサービスのプラットフォームを構築する。このようなデータ共有における妥当性、効率性、先進性の評価指標として、データ転送のパフォーマンス、同期に要する時間、セキュリティ・インシデント発生数の推移等を採用する予定である。また、データ共有に際して、研究に用いられるデータの質の確保を達成するため、医療情報の標準形式であるHL7-FHIRやDicom形式を可能な限り想定した手段を選択する。これによって、安全安心で質の保証が可能な歯科医療AIサービス構築のプラットフォームを構築するために最低限必要な基盤技術と理論を提案する。

